2023 年 3 月 4 日開催の「小児のアレルギーについて」講演会ご報告

私たち NPO 法人住環境研究会ひろしまは、2005 年の発足以来、住環境をめぐる諸課題解決への貢献を行うべく、時々のテーマを設定して活動してまいりました。コロナ禍にて行事活動を縮小しておりましたが、小規模短時間の条件のもとに再開することにいたしました。

このたびは、アレルギーを取り上げ、日頃悩んでおられる皆さまを対象として、広島県でこどものアレルギーの第一人者である 広島赤十字・原爆病院 小児科副部長 村上洋子先生 をお招きし、小児のアレルギーに関する最近の動向についてお話しいただきました。参加者は 15 名でした。

お話いただいた項目は以下のとおりでした。

詳しい内容はご協賛いただきました㈱アスタス様のご厚意により、アスタス様ホームページにレポートされています。是非ご覧ください。

下記リンクよりご覧ください（外部リンクへ移動）。

<アスタス特集記事リンクへ>

【講演内容】

小児アレルギーは、気管支喘息と食物アレルギーが多くなっている

1 気管支喘息について

(1)気管支喘息とは？

①気管支喘息の主な症状

【参考】強い喘息発作が出ているときのサイン

②.気管支喘息が起こる理由

(2)気管支喘息に対する意識の変化

(3)気管支喘息の治療

①.生活環境を見直す

【重要】喘息を起こしにくい部屋のポイント

②薬物療法

③体力づくり

2 食物アレルギーについて

(1)食物アレルギーとは？

①食物アレルギーの主な症状

②食物アレルギーを引き起こしやすい食べ物

(2)食物アレルギーについての疑問

①妊娠中のお母さんは食事制限すべき？

②人工乳 vs. 母乳、どっちが良い？

③離乳食を遅らせた方が良い？

④アレルギー反応の出た食べ物は除去すべき？

【参考】食物アレルギーの新説「二重抗原曝露仮説」について

⑤アトピーによる湿疹等の肌トラブルとの関係は？

(3)食物アレルギーの治療

【参考】食物アレルギー緊急対応マニュアルの一例(広島県)

講師：村上 洋子(むらかみ ようこ)先生
広島赤十字・原爆病院 小児科 副部長
・日本小児科学会小児科専門医/指導医
・日本アレルギー学会専門医/指導医

略歴：広島県出身。平成 8 年に宮崎医科大学を卒業し、広島大学医学部小児科学教室に入局。その後、国立病院機構福岡病院でアレルギーについての診療に当たった。途中、テキサス大学でアレルギーについての研究を経て、令和 3 年から広島赤十字・原爆病院に赴任、広島大学病院小児科の非常勤講師も兼任し、現在に至る。